

## 江間章子・團伊玖磨『花の街』テスト練習問題と過去問まとめ

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 「花の街」の作詞者を答えなさい。

問2 「花の街」の作曲者を答えなさい。

問3 「花の街」が発表された年として正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：1900年

イ：1913年

ウ：1947年

エ：1971年

問4 江間章子が作詞した曲として、「花の街」とあわせて覚えておきたいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：荒城の月

イ：夏の思い出

ウ：早春賦

エ：翼をください

問5 「花の街」について説明した文として、正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：江間章子作詞、團伊玖磨作曲の歌曲である。

イ：滝廉太郎作詞、武島羽衣作曲の組歌である。

ウ：山上路夫作詞、村井邦彦作曲の合唱曲である。

エ：吉丸一昌作詞、中田章作曲の唱歌である。



問6 「花の街」の拍子は何分の何拍子が答えなさい。

問7 4分の2拍子の説明として正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：1小節に八分音符が6つ分入る拍子。

イ：1小節に四分音符が4つ分入る拍子。

ウ：1小節に四分音符が2つ分入る拍子。

エ：1小節に二分音符が3つ分入る拍子。

問8 「花の街」の調は何調か答えなさい。

問9 ヘ長調の主音の音名として正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：ハ音

イ：ヘ音

ウ：ト音

エ：変ロ音

問10 ヘ長調では、調号として何がいくつつくか答えなさい。

問11 ヘ長調で♭がつく音名として正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：ロ音

イ：ヘ音

ウ：ハ音

エ：ト音



問12 「花の街」の拍子と調の組み合わせとして正しいものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：4分の4拍子・変ロ長調
- イ：8分の6拍子・変ホ長調
- ウ：4分の2拍子・ヘ長調
- エ：4分の4拍子・ニ長調

問13 「花の街」が作られた時代背景として、もっとも適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：明治時代の文明開化を表した曲である。
- イ：戦後まもない時期に、平和や明るい未来への願いと結びついて生まれた曲である。
- ウ：江戸時代の城下町のにぎわいを描いた曲である。
- エ：海外旅行へのあこがれを歌った曲である。

問14 「花の街」における「花」のイメージとして、もっとも適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：ただ植物の名前を説明するための言葉。
- イ：戦いに使う道具を表す言葉。
- ウ：希望や平和、新しい未来を感じさせる象徴。
- エ：過去の栄華だけを表す象徴。

問15 「花の街」における「街」のイメージとして、もっとも適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：人々が暮らす場所。
- イ：海の上に浮かぶ島。
- ウ：城の高い建物。
- エ：山の奥にある湿原。



問16 「花の街」の歌詞の意味を考えると、大切なこととして、もっとも適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：花の種類だけを覚えればよい。
- イ：歌詞の中の「花」や「街」を、希望や平和への願いと結びつけて考える。
- ウ：歌詞の内容と時代背景は関係ないとする。
- エ：曲の明るさだけを考え、悲しみやさびしさはないものとする。

問17 「花の街」の1番・2番の雰囲気として、もっとも適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：明るく、美しい花の街へのあこがれを感じさせる。
- イ：戦場の激しさだけを強く表している。
- ウ：昔の城の荒れた様子を中心に表している。
- エ：小鳥や雷を音で描写している。

問18 「花の街」の3番の雰囲気として、もっとも適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：1番・2番よりも、さびしさや悲しみを感じさせる。
- イ：全体が急に楽しい踊りの曲になる。
- ウ：花の種類をくわしく説明する内容になる。
- エ：速さだけが大きく変わり、意味は変わらない。

問19 「花の街」の1番・2番と3番の違いについて説明した文として、もっとも適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：1番・2番は明るい花の街へのあこがれ、3番はさびしさや悲しみも感じさせる。
- イ：1番・2番は暗く、3番だけが明るい。
- ウ：1番・2番と3番は、歌詞の意味も雰囲気もまったく同じである。
- エ：1番・2番は楽器の説明、3番は拍子の説明である。



問20 「花の街」にこめられた願いとして、もっとも適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：強い国になるために争いを続けたいという願い。
- イ：花が咲く明るい街のような、平和な未来を願う気持ち。
- ウ：昔の城をもう一度建て直したいという願い。
- エ：自然の中で一人だけ静かに暮らしたいという願い。

問21 「花の街」の歌い方として、もっとも適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：強く叫ぶように、全体を激しく歌う。
- イ：やさしく、明るい響きを大切に歌う。
- ウ：歌詞の意味を考えず、速さだけを優先して歌う。
- エ：3番のさびしさを無視して、全体を同じ表情で歌う。

問22 「花の街」を歌うときに意識したいこととして、もっとも適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：花が広がるような、のびやかなイメージをもつ。
- イ：曲の背景を考えず、音を短く切って歌う。
- ウ：3番も1番とまったく同じ明るさだけで歌う。
- エ：拍子や調は歌い方に関係ない考える。

問23 3番を歌うときの表現として、もっとも適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：明るさだけでなく、さびしさや悲しみも感じて歌う。
- イ：急にふざけた調子で歌う。
- ウ：音程や言葉を気にせず、勢いだけで歌う。
- エ：戦後の背景とは関係ないものとして歌う。



問24 「花の街」の表現について説明した文として、もっとも適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

- ア：戦後の背景を知ること、明るさの中にある平和への願いを感じて歌える。
- イ：作詞者と作曲者を覚えれば、歌詞の意味や表現は考えなくてよい。
- ウ：曲の雰囲気は全体を通して激しく勇ましい。
- エ：花や街は、意味をもたない単なる飾りの言葉である。



## 江間章子・團伊玖磨『花の街』テスト練習問題と過去問まとめ (解答)

### 問1 江間章子

【解説】「花の街」の作詞者は江間章子だよ。江間章子は「夏の思い出」の作詞者でもあるので、セットで覚えておこう。

### 問2 團伊玖磨

【解説】「花の街」の作曲者は團伊玖磨だよ。作詞者の江間章子と入れ替えないように注意しよう。

### 問3 ウ

【解説】「花の街」は1947年（昭和22年）に発表された曲だよ。戦争が終わって間もない時期の曲として、時代背景と合わせて覚えよう。

### 問4 イ

【解説】江間章子は「夏の思い出」の作詞者でもあるよ。「花の街」と「夏の思い出」は、作詞者が同じという点で結びつけて覚えよう。

### 問5 ア

【解説】「花の街」は、江間章子作詞、團伊玖磨作曲の曲だよ。ウは「翼をください」、エは「早春賦」と関係が深い組み合わせなので、混同しないようにしよう。

### 問6 4分の2拍子

【解説】「花の街」は4分の2拍子の曲として扱われるよ。4分の2拍子は、1小節に四分音符が2つ分入る拍子だよ。



## 問7 ウ

【解説】4分の2拍子は、1小節に四分音符が2つ分入る拍子だよ。「1、2」「1、2」と、2拍子の流れを感じると分かりやすいね。

## 問8 ヘ長調

【解説】「花の街」はヘ長調の曲として扱われるよ。ヘ長調の主音の音名はヘ音だよ。

## 問9 イ

【解説】ヘ長調の主音の音名は、ヘ音だよ。階名で考える場合、長調の主音は「ド」になるので、音名と階名を混同しないようにしましょう。

## 問10 ｂが1つ

【解説】ヘ長調では、調号としてbが1つつくよ。音名でいうと、口音にbがつくんだ。

## 問11 ア

【解説】ヘ長調では、音名で口音にbがつくよ。「シにb」と階名で説明されることもあるけれど、音名で聞かれたら口音と答えよう。

## 問12 ウ

【解説】「花の街」は、4分の2拍子・ヘ長調の曲として扱われるよ。基本情報として、作詞者・作曲者とあわせて覚えておこう。

## 問13 イ

【解説】「花の街」は、戦争が終わって間もない時期の曲として考えることが大切だよ。明るい花のイメージの奥に、平和や明るい未来への願いがこめられていると考えられるんだ。



## 問14 ウ

【解説】「花」は、ただの植物としてだけでなく、希望・平和・新しい未来の象徴として考えるとよいよ。戦後の時代背景と結びつけると、曲の意味が深くなるね。

## 問15 ア

【解説】「街」は、人々が暮らす場所を表していると考えられるよ。戦後の時代背景と合わせて、平和で明るい街への願いとして読み取ると分かりやすいね。

## 問16 イ

【解説】「花の街」では、歌詞の明るいイメージだけでなく、戦後の時代背景や平和への願いと結びつけて考えることが大切だよ。

## 問17 ア

【解説】1番・2番では、明るく美しい花の街へのあこがれが感じられるよ。希望や明るい未来のイメージと結びつけて考えよう。

## 問18 ア

【解説】3番では、1番・2番の明るさとは少し違い、さびしさや悲しみも感じられるよ。明るさと悲しみの対比が、この曲を深くしているんだ。

## 問19 ア

【解説】「花の街」では、1番・2番の明るいイメージと、3番で感じられるさびしさや悲しみの対比が大切だよ。ただ明るいだけでなく、悲しみをこえて平和を願う曲として考えよう。

## 問20 イ

【解説】「花の街」には、花が咲くような明るい街、そして平和な未来への願いがこめられていると考えられるよ。



## 問21 イ

【解説】「花の街」は、やさしく、明るい響きを大切にして歌うとよいよ。ただし、明るさだけでなく、背景にある平和への願いも感じながら表現しよう。

## 問22 ア

【解説】「花の街」では、花が広がるようなのびやかなイメージをもって歌うことが大切だよ。平和や希望への願いを感じながら表現しよう。

## 問23 ア

【解説】3番では、1番・2番とは少し違い、さびしさや悲しみも感じられるよ。ただ暗くするのではなく、悲しみをこえて平和を願う気持ちを大切にしよう。

## 問24 ア

【解説】「花の街」は、戦後まもない時代の曲として考えると、明るさの中にある平和への願いを感じやすくなるよ。歌詞の背景を考えて歌うことが大切だね。

